



“共謀罪” 緊迫！ 強行採決許すな！



安倍暴走政権は、憲法破壊広言に加えて“共謀罪”法案を強行採決しようと画策しています。5月16日夕刻、日比谷野外音楽堂には、この暴挙糾弾の怒りを全身に抱いた4200人が結集しました。民進、自由、共産、社民、沖縄の風各党は、所属国会議員が総動員参加。集会の最後には、宗教者たちが壇上に、創価学会の三色旗が力強く振られていました。実行委員会の高田健さんは、「17日から連日国会包囲行動を展開する。国会内の議員を激励し、世論をさらにさらに喚起して、何としても共謀罪成立を阻止しよう」と力強くアピールしました。

「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件」の真相を知った私たちは、共謀罪が残酷な冤罪事件に道を開く弾圧法規であることを、引き続き訴え続け、葬り去る運動の一翼を担っていきます。引き続き行動に参加します。（福島 清）